

市長 來住 壽一

災害への対応

台風一過、今朝は、雲一点もない秋空が澄み渡っています。今日9月17日、10月号の市長コラムを書いています。

9月2日は、台風15号崩れの低気圧により、また、昨日は、大型台風18号により浸水、土砂崩れ、冠水などの被害が発生しました。被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。

今回は、特定の地域に被害が集中しています。2日は、郷瀬町南部地域、16日は黒田庄福地地域。郷瀬では床上3件・床下26件、福地で床上4件・床下33件の浸水被害が発生。

郷瀬町南部地域は、平成23年台風12号で大規模な被害が発生し、二度と同じ被害を発生させないためにと、排水ポンプ場の整備や排水路の改修を進めてきたにもかかわらず、今年5月に設置した排水ポンプを再稼働させられず、地域の期待を裏切る結果となりお詫び申し上げます。直ちに、ポンプの不具合を解消し、万一に備えて手動操作ができるよう改修しました。今後万全の態勢で臨みます。

黒田庄福地地区では、河川からの逆流を防ぐ樋門閉鎖で内水が溜まり浸水被害が発生。平成16年台風23号でもこれ以上の被害が発生しており、大雨のたびに田畑の冠水被害が発生する地域です。こうしたことを繰り返さないためにどうすればいいのか、地域の皆さん、関係機関とともに検討を重ねなければならないと考えております。

16日には、異例の内閣総理大臣指示が全国自治体に発信されました。皆さんご存じのとおり、「特別警報」が新設され、今回初めて、近畿3府県に発令されました。総理大臣指示は、「被災者の救命、救助を第一に応急対策に全力を挙げること」とあります。特別警報は、数十年にあるかないかの大災害に対して、まずは自分の命を守るために速やかに行動すべき警報です。局地的豪雨が頻繁に起こっています。皆さんも十分気をつけてください。

20日には、上比延工場公園に進出する株式会社コクボ（製水会社）と契約調印をいたします。ありがたく嬉しい限りです。

皆さん、それぞれの秋をお楽しみください。



▲レントン市にある「西脇通り」にて記念撮影

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる 一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくりー 教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

姉妹都市アメリカレントン市訪問を終えて

―平成25年度西脇市中学生親善使節団が帰国―

西脇市は、アメリカ合衆国ワシントン州レントン市と姉妹都市提携を結んでいます。毎年、中学生の親善交流を行っており、今年も中学生13人が、8月16日から26日までの11日間、レントン市を訪問しました。中学生たちはさまざまな体験をし、一回り成長して帰ってきました。また、10月8日から15日にレントン市中学生親善使節団が来西されます。市内で見かけられたら、皆さん温かい声をかけてください。

第27回派遣中学生親善使節団

- 団長 博文 (西脇南中学校長)
○随員 小西 泰葉 (西脇市職員)
○团员 朝田 祐帆 (西脇中) 竹本 夏海 (西脇中) 中西 敦子 (西脇中) 村上 雄一郎 (西脇中) 高瀬 由紀奈 (西脇東中) 足立 萌花 (西脇南中) 大江 拓夢 (西脇南中) 早崎 安耶 (西脇南中) 藤原 沙耶 (西脇南中)

- 角田 史緒梨 (黒田庄中) 藤原 あかね (黒田庄中) 藤原 さくら (黒田庄中) 藤原 康任 (黒田庄中)

子どもたちの感想

○言葉が通じない人に勇気を出して話しかけたり、自分ごとでも積極的になれました。家族の絆の強さ、すばらしい景色など、レントンでの事を私は忘れません。
○レントンでホームステイをさせてもらって、日本とは異なる文化や生活習慣を目で耳で体で感じる事ができ、私の中でプラスの経験になりました。

○初めは本当に10日間もやっていけるか心配でしたが、ホストファミリーの方からどんどん話しかけてくださったりして本当に充実した日々を送ることができました。

○この10日間は、夢のような日々でした。ホストファミリーにも恵まれ、娘だと言っていただき、初めて会った私に本当に良くしていただきました。最高の夏になりました。

あぐいコラム 62 自然の恵みを人からへ



市では「西脇ファーマーズブランド」を立ち上げ、市内産農産物の魅力向上、自然にやさしい安全・安心な農産物の生産拡大を目指しています。

野菜や果物のスペシャリスト「野菜ソムリエ」

「野菜ソムリエ」をご存じですか。一般社団法人日本野菜ソムリエ協会が主催する養成講座を受講して、試験に合格することで与えられる資格です。野菜ソムリエには、「シニア野菜ソムリエ」、「野菜ソムリエ」、農産物直売所などで活躍している「ジュニア野菜ソムリエ」の3段階の資格が

あります。ソムリエは野菜や果物の基礎知識はもちろん、味の見極め方や料理方法、さらには野菜や果物の体への役割についてもお答えすることができま

す。このたび、北はりま旬菜館の職員2人がジュニア野菜ソムリエの資格を取得しました。ソムリエは、生産者と消費者の橋渡しを担うため、生産者との会話を欠かすことなく、日々、知識の向上に努めています。生産者が丹精込めて栽培した野菜や果物に、幅広い情報をこれまで以上に多く添えて、消費者に提供していきます。北はりま旬菜館には農産物直売所ならではの珍しい野菜も出荷されています。調理方法などが分からない場合は、遠慮なしにソムリエにお声かけください。なお、二人のソムリエは初心者マークです。皆さまの温かい心で育てていただければ幸いです。

西脇市消費生活センター (生活環境課内) No.97 通販サイトの商品トラブル

代金を先払いしたが、商品が届かない。注文した商品と違うものが届いた。届いたものが模造品だったが、業者と連絡が取れず、返金にも応じてくれない。インターネットの通販サイトを利用し、このようなトラブルが増えています。海外事業者が運営する通販サイトであっても、日本語で書かれていて、海外のサイトとは気づかず利用するケースがあります。日本語の表現が不自然である場合や、誤字が多い場合は注意が必要です。また、連絡手段がメールしかないサイトも危険です。事業者名や、所在地、電話番号などが記載されているか、確認しましょう。いったん代金を振り込むと、取り戻すことが極めて困難です。正規の販売代金よりも極端に値引きされているときは、模造品でないかの注意も必要です。必ず事前にキャンセルや返品に関する規定を読み、不明な点は事業者を確認するようにしましょう。

小規模特設校 双葉小学校体験入学募集

双葉小学校は、小規模校の特性を生かした少人数指導や、本物にふれる体験を重視した体験学習等、豊かな教育環境を最大限に生かした教育に取り組んでいます。市教育委員会では、こうした教育環境を希望される方に、通学区域に関係なく市内どこからでも就学を認める制度(小規模特設校制度)を平成18年10月1日から施行しています。

双葉小学校の特色ある教育

最大の特色は、少人数の利点を活かした指導です(全校生28名)。学校として重点的に取り組む内容を「学びの十カ条」として掲げ、地域の豊かな自然と心豊かな人々に囲まれながら、確かな学力・豊かな心とたくましい体の育成に努めています。また、児童の心を揺り動かす授業内容や指導方法の工夫、フリート



クの導入や全校スピーチ等により、人前で堂々と自己表現することができるよう力の向上にも取り組んでいます。さらに、地域の豊かな自然を生かした稲作などの環境体験学習をはじめ、独自の取り組みを行っています。
双葉小学校の特色ある教育
▽徹底した個別指導▽朗読会・学芸会(全校)▽全校生による授業参観▽縦割り班活動(異年齢集団活動)▽県教委「小規模交流促進事業」指定校(母子小・大芋小との交流)▽充実した外国語活動▽全校学習・全校音楽▽朝の学習(算数・朗読)▽立腰教育(学習姿勢・集中力・学習規律)
校舎が新しくなります
現在、双葉小学校校舎の改築が進められています。新しくなった校舎で、これまで以上の「個に応じた教育活動」を展開していきます。

体験入学を募集します

双葉小学校の教育活動を直接体験する機会を設けます。
■期間 11月20日(水)～22日(金)
■対象 市内小学1～5年生
■市内全校で児童・保護者への参加希望調査を実施します(10月下旬予定)。
■問合せ 学校教育課(市役所内線535・526)